

# 学校図書館支援センター通信 NO.40 1月号

平成22年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

## 「道徳授業等に活かせる図書リスト」!

明けましておめでとうございます。「本」年もよろしくお願ひいたします。  
2011年（平成23年）、今年の干支は「兎（うさぎ）・卯」ですね。今年も学校図書館は、子どもたちのたくさんの笑顔に出会えるように、<聞く耳をしっかりとして立ってながら、軽快に元気いっぱい走って>いきたいものですね。



さて、学校図書館支援センターでは、市内の司書教諭、学校司書・学校図書館員の皆さんにご協力をいただいて、このたび『道徳授業等に活かせる図書リスト』を作成しました。このリストには、「生命尊重」「信頼・友情」「勇気」「自然愛護」「公正・公平」等、小学校低学年・中学年・高学年、中学校のそれぞれの道徳の時間の指導内容項目ごとに、活用できる資料として、延べ約1000冊の図書が選書されています。

道徳の時間の資料として、また、学級活動での指導、朝読書での読み聞かせ等で、ぜひご活用ください。  
(※ リストは、各学校図書館にあります。)

※ 「生命尊重」【命の大切さ・つながり・不思議など】の項目に選書されている図書の中から、いくつかの本を解説していただきます。(ほんの一部です。)

『葉っぱのフレディ』レオ・バスカーリア/作 みらいなな/訳 童話屋

「死ぬのがこわいよ」と訴える葉っぱのフレディに、ダニエルは、世界は変化し続けていてそれが自然のことであり、死もその自然の変化の一つであるからこわいものではないと諭す。

『わすれられないおくりもの』スーザン・バーレー作 小川仁央訳 評論社

もの知りでかしこく、みんなからとてもたよりにされていたアナグマを失った悲しみに、みんな力を落としていたが、やがてそれぞれがアナグマから受け取っていたものに気づき、それを分かち合う。

『山のいのち』『海のいのち』立松和平作 伊勢英子絵 ポプラ社

ひとつの“いのち”は、またべつの“いのち”の源となり、それは繰り返し連なっていく。

『いのちのつながり』中村運文 佐藤直行絵 福音館書店

地球が生まれて最初の生命が誕生してから、その進化の過程をイラストで紹介。動物も植物も細胞からなっていて、遺伝子の変化で進化してきたことがわかる。

『こいぬのうんち』クオンジョンセン文 チョンスンガク絵 ピョンキジャ訳 平凡社

ぼくは何の役にも立たないちっぽけなものだと思っていたけれど、ぼくの知らないところで必要とされていた。不要な存在などこの世にはあり得ない。

『ねこのき』長田弘さく 大橋歩え クレヨンハウス

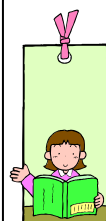
おばあさんの飼っていたオレンジ色のしっぽねこが死んでしまった。おばあさんはねこを庭にうめた。そこから小さな芽が出て成長し、やがて落ちた大きなオレンジ色の実が、小さなねこだった。

『いのちは見えるよ』及川和男作 長野ヒデ子絵 岩崎書店

全盲のルミさんが小学生のエリちゃんの助けで出産した。ルミさんは、生まれたわが子の姿は見えなくても「いのちは見えるよ」という。



【解説：高桑弥須子（富美浜小学校 学校司書）】



「調べる学習 達人への道（その3）」 「情報カード」に書き抜こう!

第1回でお話ししたように、資料の無いものは調べることはできません。1人1人のテーマを決める時に、図書館を使って複数の情報源（図書や新聞やネット情報など）が見つけれられていることが大切です。そうすれば、後はあまり時間をかけずに授業を進められます。

調べたことを記録するには「情報カード」が最適です。書いた情報をまとめたり分類したりすることもたやすくできます。「情報カード」には一定の書式があるので、学校でパターンを統一すると子どもたちが使いやすくなります。

できるだけ自分の言葉でなく、必要な情報だけを抜き書きさせます。資料を写す「引用」です。長々と書き抜かず、一項目ずつに絞って書き出します。自分の言葉で文章化するのは、まとめるときです。「情報カード」から必要な情報をとりだして「引用」しながらまとめると、「引用」の概念が身につきます。また、同じ資料をもう一度探せるように「利用図書リスト」を作りましょう。

<「情報カード」「利用図書リスト」の活用ポイント>

- 調べた内容は、「情報カード」を使って、一枚のカードに一項目ずつ記録する。
- 「情報カード」は1人で何枚使っても良い。
- カードには「引用」させ、自分の考えは別に書かせるほうが良い。
- 「利用図書リスト」を作成し、書名、著者名、出版社、NDC、ページ等を記入する欄を設ける。これにより「情報カード」への書名等の記入は一度で済み、複数冊の図書の利用を促しやすい。

(本シリーズは、5回にわたって掲載します。)



## 図書館の窓から

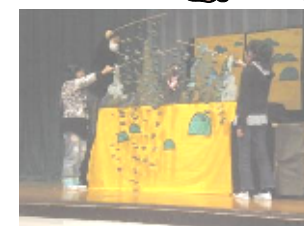
～ひろげよう! 図書館の輪・リレー執筆～



大町小の秋は大忙しです。わんぱく農園で育てた野菜を使った収穫感謝祭が終わると、ようやく読書の秋となります。今年は読書集会として、PTA 読み聞かせサークルと図書委員によるペープサートの観賞と、詩の全校群読に挑戦しました。お話が大好きな大町っ子は真剣な眼差しで観賞し、群読では素敵な声を体育館いっぱいに響かせました。

集会後、サークルの方にお借りした人形も、演じた作品のシリーズも大人気。図書館には、人形を手にして遊ぶ子どもたちの笑顔があふれていました。

(大町小学校 学校図書館員 千田 和栄)



読書集会でのペープサート

～市川市文学プラザからのお知らせ～

第11回市川手児奈文学賞 入賞作品決定!

「市川を詠む」をテーマに短歌・俳句・川柳を募集した第11回市川手児奈文学賞。全国から集まった5781点（うち市内児童生徒作品：3175点）の作品の中から、今年度の入賞作品が決定しました。

入賞作品展が、文学プラザにて開催されますので、ぜひ、ご覧ください。

◇展示作品：一般の部の入賞作品（大賞・秀逸・佳作）、  
子どもの部の優秀作品（81点）

◇開催期間：1月29日（土）～2月24日（木）（月曜日休館）

～ふむふむ、わくわく、ほかほか図書館～

◎ふむふむ … 学習に役立つ!

○わくわく … おもしろい本がいっぱい!

○ほかほか … ゆったりと居心地がいい!



【国分小学校】

学習に役立つような新聞記事の切り抜き（ファイル資料）、パンフレット、小冊子などが、テーマ別に収集・保管されています。子どもたちが調べ学習に積極的に活用しています。

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4 TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

<http://www.ichikawa-schooled.jp/index.html> (※「市川市教育センター」で検索できます。)

